

< 問 9 > 交通事故で負傷した場合（負傷区分 E）

ここで、あなた自身が交通事故に遭い、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で治療を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態が次のとおりとなってしまうと想定してください。

負傷の状態

入院中(6ヶ月)

➔

退院後(10年間)

□ 次の ~ のどれか、あるいは複数の怪我を負い、6ヶ月間の入院と大きな手術が必要になる。

脳の損傷を負い、手術が行われる。内臓(お腹)の破裂に対して(数回の)手術が行われ、人工肛門となる。両足の複雑骨折で手術が(何度か)行われる。

□ 社会復帰はできるが、次の ~ のどれか、あるいは複数の後遺症が残り、事故前の4分の1程度の労働能力となる。痛みや不眠に対しては、薬の内服が必要となる。

新しいことを学習する能力がやや障害される。食事の制限はないが、人工肛門周辺の皮膚がただれる。最終的には片足切断となり、足に装具を付けることになる(もう片方の足は治癒する)。リハビリで自力歩行ができるようになる。

入院中(6ヶ月)

	悪い状態 ← → 良い状態			
	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?	寝たきり	寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?	自分でできない	自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?	できない	できない	いづらか問題あり	問題なくできる
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし

▨ : 『普通の処置』を受けた状態

退院後(10年間)

	悪い状態 ← → 良い状態			
	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?	寝たきり	寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?	自分でできない	自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?	できない	できない	いづらか問題あり	問題なくできる
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし

▨ : 『普通の処置』を受けた状態

問 7 - 1 で負傷区分 E よりも K(死亡)の順位が低い場合は問 9 - 1 へ(Web 上非表示)

問 7 - 1 で負傷区分 E よりも K(死亡)の順位が高い場合は問 9 - 2 へ(Web 上非表示)

<問9 - 1> 「特別な治療」の選択について

あなたは、普通の処置のほかに、無料で「特別な治療」を受けることが可能です。しかし、その場合の結果は確実ではなく、成功することもあるれば、失敗することもあります。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に快復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。

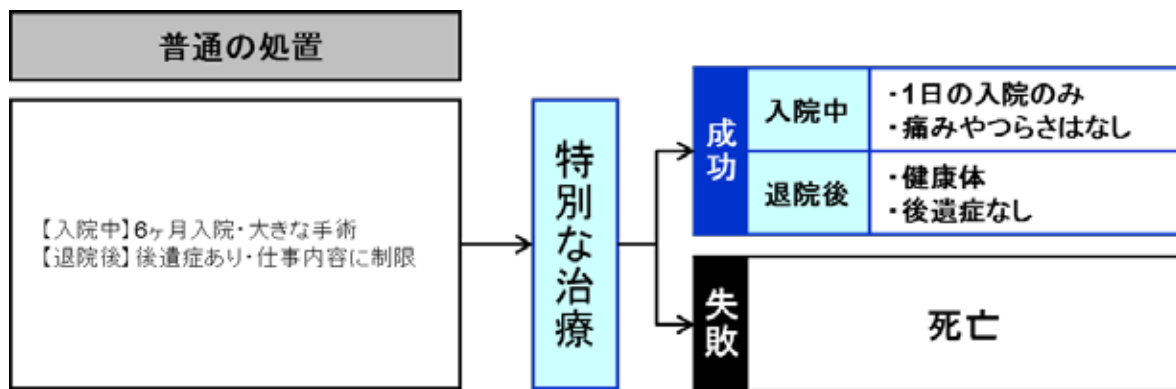
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに快復できます。

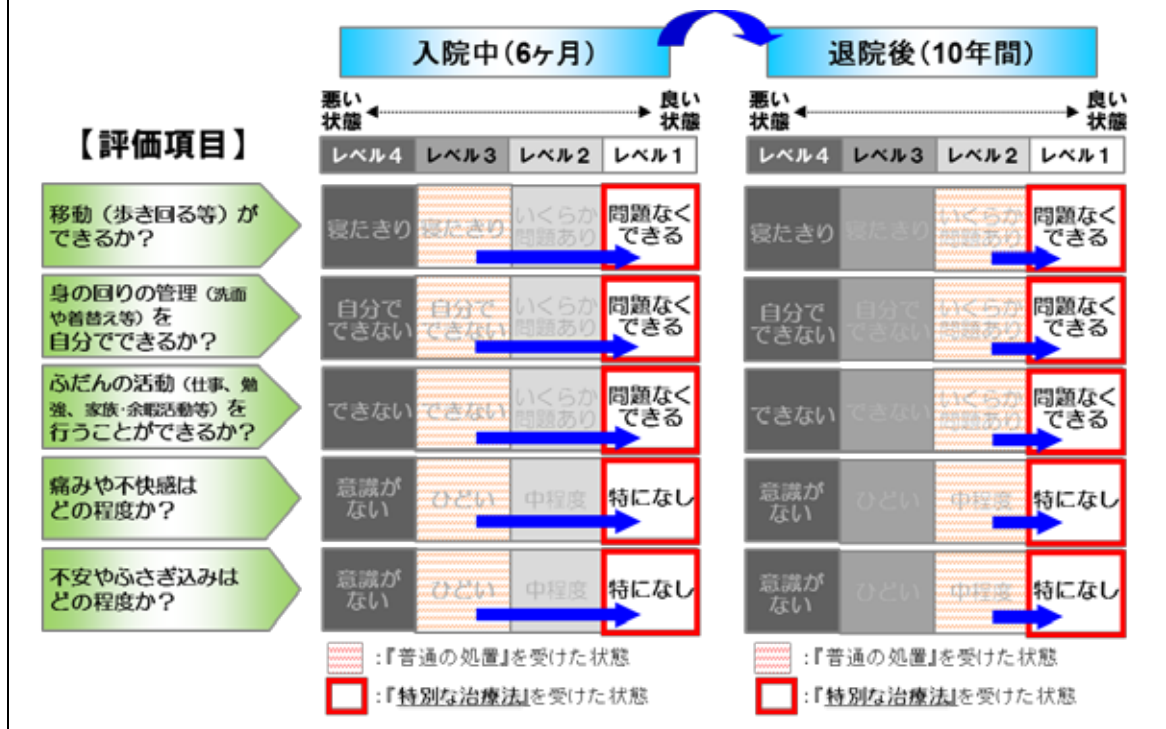
【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、24時間以内に死亡します。



「特別な治療」が成功した場合の身体レベル



< 回答 9 - 1 >

もし、あなたが交通事故で負傷して、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい。

(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります。)(問 1 5 へ)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		

問 9 - 1 からここまで、1 枚で。

<問9 - 2> 「特別な治療」の選択について

ここで、あなた自身が交通事故に遭い、病院に運ばれたと想像してください。

あなたがこのまま「普通の処置」を受けた場合、24時間以内に死亡してしまうような状況であると想定してください。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。

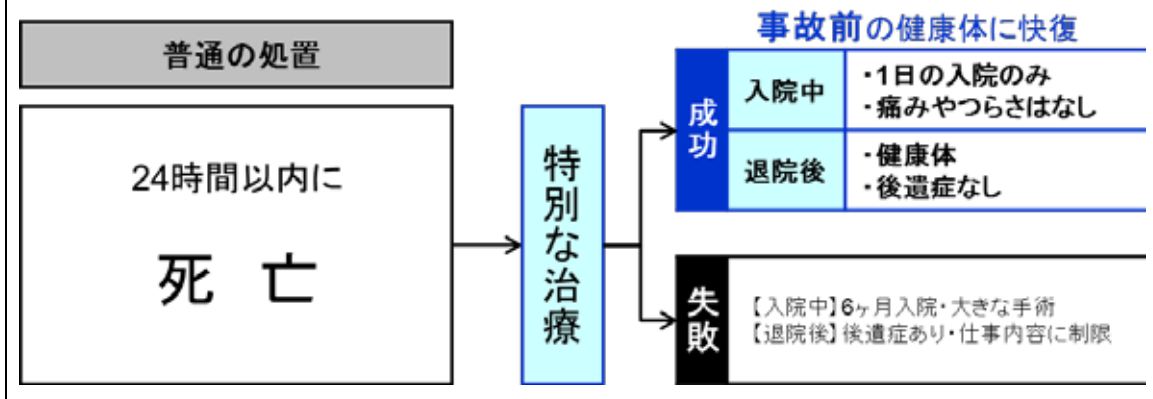
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに回復できます。

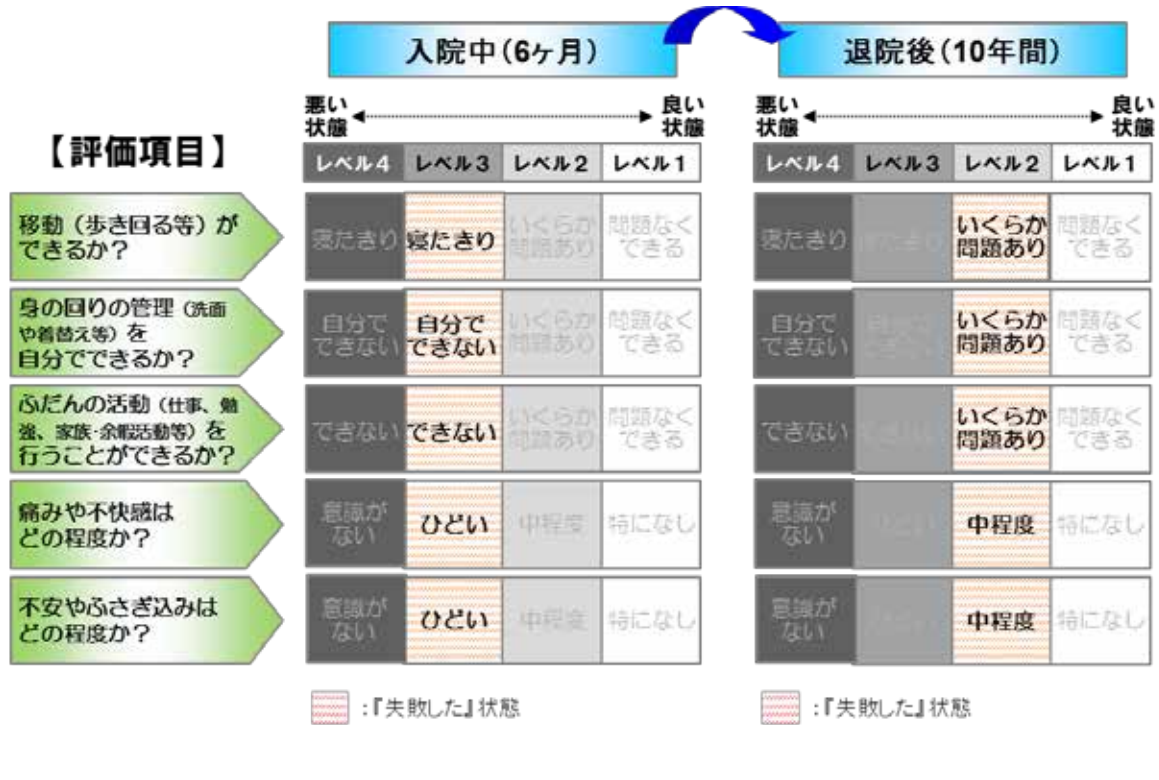
【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、先ほどご説明した次のような負傷状態になります。



「特別な治療」が失敗した場合



< 回答 9 - 2 >

もし、あなたが交通事故で、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい。

(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります。)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		

問 9 - 2 からここまで、1 枚で。

< 問 9 - 3 >

あなたが、この負傷の状況よりも死亡した方がましであると選択した理由は何ですか。

< 回答 9 - 3 > (SA)(問 15 へ)

- 1 死亡した方が苦しくないから
- 2 入院中、退院後に家族に多額の金銭的負担をかけてしまうから
- 3 入院中、退院後に家族に精神的、肉体的な負担をかけてしまうから
- 4 その他 (具体的に)
- 5 死亡した方がましであるとは選択していない

<問10> 交通事故で負傷した場合（負傷区分 Y）

ここで、あなた自身が交通事故に遭い、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で治療を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態や身体レベルが次のとおりとなってしまうと想定してください。

負傷の状態

入院中(3ヶ月)

□ 次の ~ のどれかの怪我を負い、3ヶ月間の入院といくらかの手術や処置が必要になる。

首の怪我で腕や手が麻痺する。首が動かないように固定する処置が行われる。肺と横隔膜が破裂し手術が行われる。骨盤の骨が折れてしばらくは動けない。手術による骨の固定が必要となる。

退院後(10年間)

□ 社会復帰はできるが、次の ~ のどれかの後遺症が残り、仕事の種類に制限を受ける。痛みや不眠に対しては、薬の内服が必要となる。

首の固定はまもなくとれるが、腕や手にビリビリとした痛みが残る。身体を動かすと胸に痛みが残る。股の関節(足の付け根)に運動障害が残る。

【評価項目】

入院中(3ヶ月)

退院後(10年間)

	入院中(3ヶ月)				退院後(10年間)					
	悪い状態	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	悪い状態	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?	寝たきり	寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる	寝たきり	寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる		
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?	自分でできない	自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる	自分でできない	自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる		
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?	できない	できない	いくらか問題あり	問題なくできる	できない	できない	いくらか問題あり	問題なくできる		
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし		
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし		

▨ : '普通の処置'を受けた状態

▨ : '普通の処置'を受けた状態

問7 - 1で負傷区分 Y よりも K(死亡)の順位が低い場合は問10 - 1へ(Web上非表示)

問7 - 1で負傷区分 Y よりも K(死亡)の順位が高い場合は問10 - 2へ(Web上非表示)

<問10 - 1> 「特別な治療」の選択について

あなたは、普通の処置のほかに、無料で「特別な治療」を受けることが可能です。しかし、その場合の結果は確実ではなく、成功することもあるれば、失敗することもあります。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。

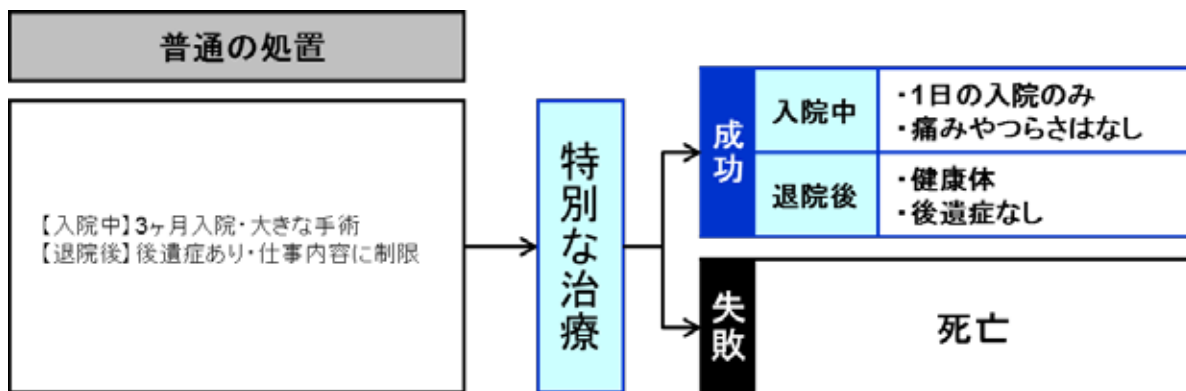
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに回復できます。

【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

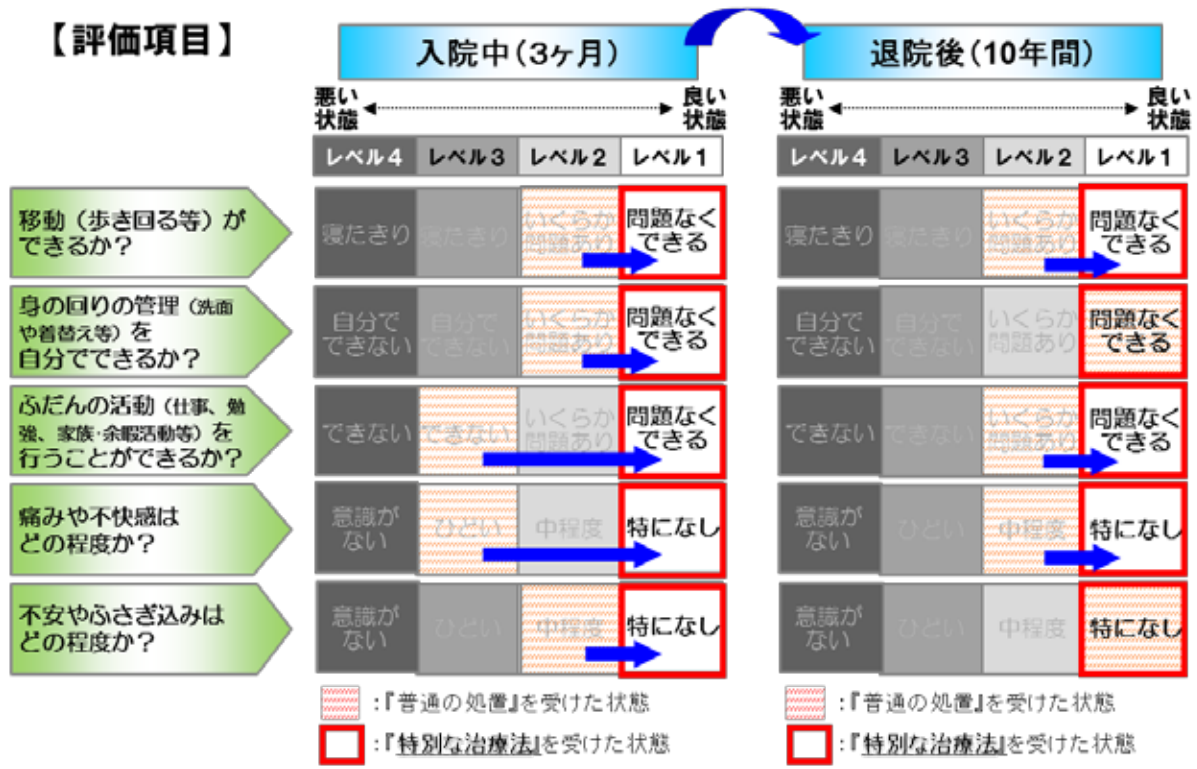
【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、24時間以内に死亡します。



「特別な治療」が成功した場合

【評価項目】



< 回答 10 - 1 >

もし、あなたが交通事故で負傷して、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい。

(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります。)(問 15 へ)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		

問 10 - 1 からここまで、1 枚で。

<問10 - 2> 「特別な治療」の選択について

ここで、あなた自身が交通事故に遭い、病院に運ばれたと想像してください。

あなたがこのまま「普通の処置」を受けた場合、24時間以内に死亡してしまうような状況であると想定してください。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。

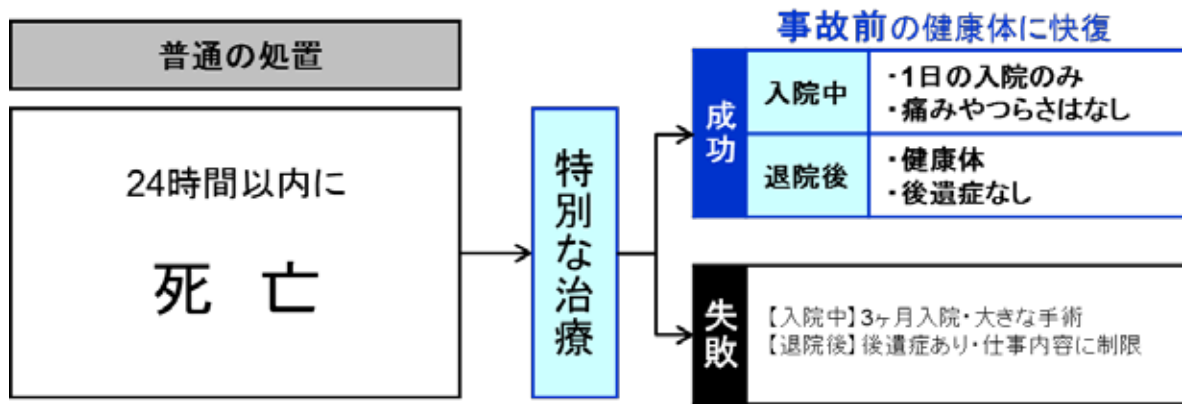
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに回復できます。

【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、先ほどご説明した次のような負傷状態になります。



「特別な治療」が失敗した場合

【評価項目】

	入院中(3ヶ月)				退院後(10年間)			
	悪い状態			良い状態	悪い状態			良い状態
	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?	寝たきり	寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる	寝たきり	寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?	自分でできない	自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる	自分でできない	自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?	できない	できない	いづらか問題あり	問題なくできる	できない	できない	いづらか問題あり	問題なくできる
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

:『失敗した』状態

< 回答 10 - 2 >

もし、あなたが交通事故で、上記のような状態になった場合、成功確率がどれぐらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい

(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		

問 10 - 2 からここまで、1 枚で。

< 問 10 - 3 >

あなたが、この負傷の状況よりも死亡した方がましであると選択した理由は何ですか。

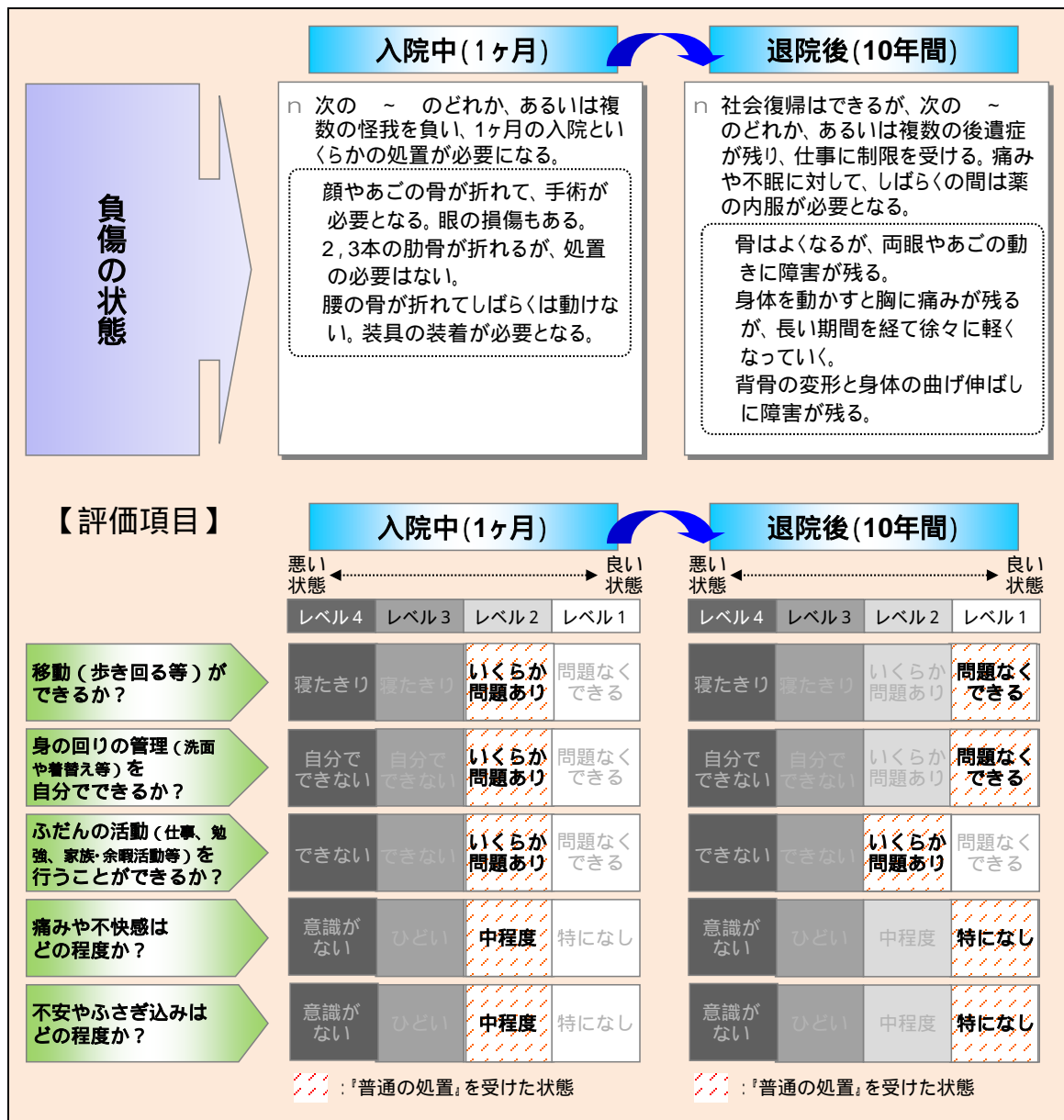
< 回答 10 - 3 > (SA)(問 15 へ)

- 1 死亡した方が苦しくないから
- 2 入院中、退院後に家族に多額の金銭的負担をかけてしまうから
- 3 入院中、退院後に家族に精神的、肉体的な負担をかけてしまうから
- 4 その他 (具体的に)
- 5 死亡した方がましであるとは選択していない

<問11> 交通事故で負傷した場合（負傷区分〇）

ここで、あなた自身が交通事故に遭い、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で治療を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態が次のとおりとなってしまうと想定してください。



問7-1で負傷区分〇よりもK(死亡)の順位が低い場合は問11-1へ(Web上非表示)

問7-1で負傷区分〇よりもK(死亡)の順位が高い場合は問11-2へ(Web上非表示)

<問11-1> 「特別な治療」の選択について

あなたは、普通の処置のほかに、無料で「特別な治療」を受けることが可能です。しかし、その場合の結果は確実ではなく、成功することもあるれば、失敗することもあります。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に快復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。

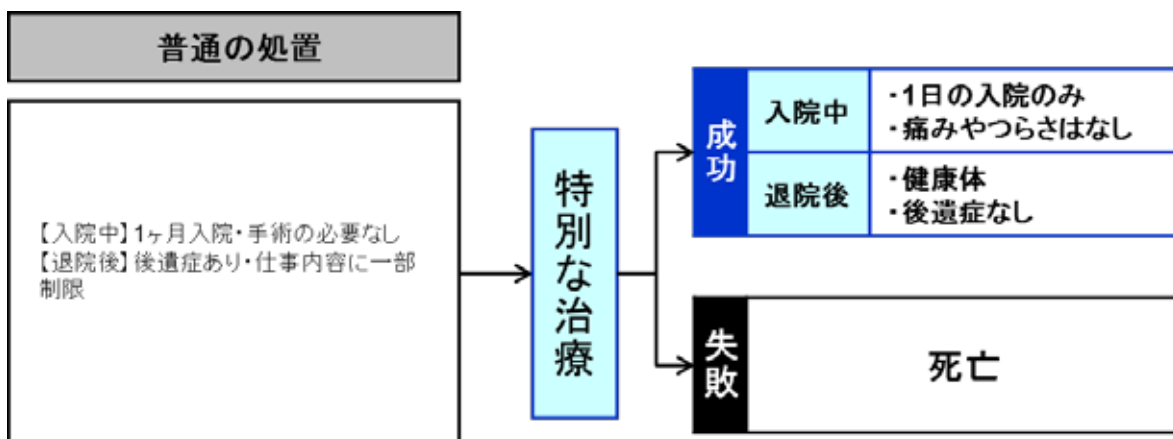
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに快復できます。

【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、24時間以内に死亡します。



「特別な治療」が成功した場合